

# 伊集院保健所感染症情報

2025年第43週（令和7年10月20日～令和7年10月26日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

## 定点把握感染症

定点医療機関【インフルエンザCOVID2、小児科1、基幹定点1、ARI 2】

疾 患 名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第40週	第41週	第42週	第43週	先週からの増減	第42週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	128.50	126.50	121.50	107.50	↘	48.88	↘
インフルエンザ	30	10	10	0.50	0.00	1.00	3.00	↗	1.32	↘
COVID-19	—	—	—	11.50	5.00	5.00	3.00	↘	2.72	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	2.00	0.00	0.00	0.00	→	0.52	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	4.00	1.00	4.00	4.00	→	1.87	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	0.00	0.00	0.00	2.00	↗	3.52	↘
水痘	2	1	1	0.00	1.00	0.00	0.00	→	0.03	↘
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↘
伝染性紅斑	2	1	—	3.00	1.00	4.00	0.00	↘	3.58	↘
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.29	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.06	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
R S ウイルス感染症	—	—	—	6.00	4.00	1.00	3.00	↗	1.84	↘
全数報告（かっこ内は本年の累積数）			百日咳1（59）							
※警報域　：太文字で赤色の塗りつぶし，　　注意報域　：太文字で黄色の塗りつぶし										

## TOPIC

### マイコプラズマ肺炎に注意しましょう。

マイコプラズマ肺炎は、小児や若い人の肺炎の原因として、比較的多いものの一つです。例年、患者として報告されるもののうち約80%は14歳以下ですが、成人の報告もみられ、1年を通じ発症し、特に秋冬に増加する傾向があります。

また、潜伏期は通常2～3週間で、初期症状は発熱、全身倦怠感、頭痛などです。咳は、初発症状出現後、3～5日から始まることが多く、解熱後も3～4週間続きます。

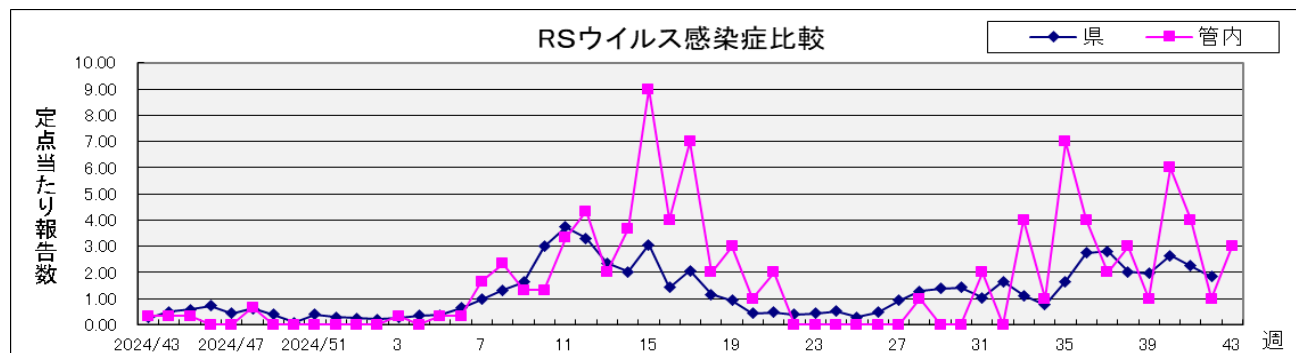
感染した人の咳のしぶき（飛沫）を吸い込んだり（飛沫感染）、感染者と接触したりすること（接触感染）により感染すると言われています。家庭のほか、学校などの施設内でも感染の伝播がみられます。

保育施設、幼稚園、学校などの閉鎖施設内や家庭などでの感染伝播はみられるものの、短時間の曝露による感染拡大の可能性はそれほど高くなく、濃厚接触により感染することが多いと考えられています。

予防法方法として、普段から流水と石けんによる手洗いをするのが大切です。また、感染した場合は、家族間でもタオルの共用は避けましょう。咳の症状がある場合には、マスクを着用するなど“咳エチケット”を守ることを心がけましょう。

## ● 注意すべき感染症

### ・ RS ウイルス感染症

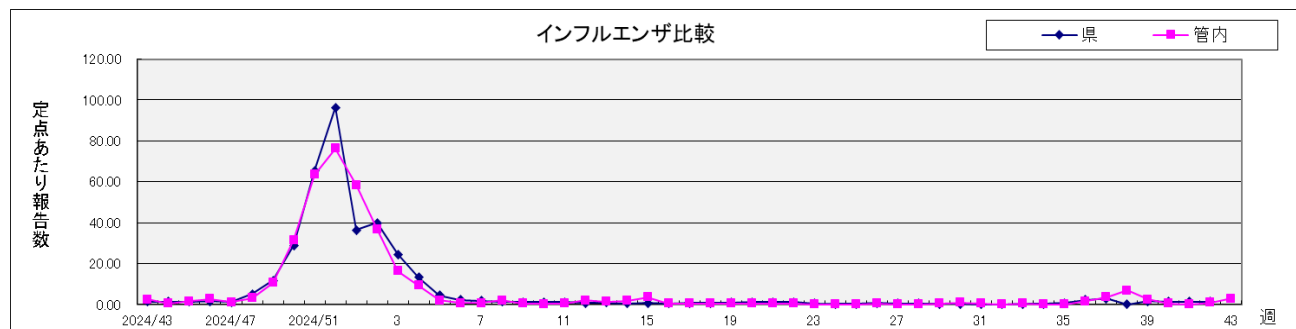


第43週の伊集院保健所管内におけるRSウイルス感染症の報告数は、3人でした。年齢別では、0～5ヶ月(2人)、6ヶ月～11ヶ月(1人)の順に多い報告でした。

RSウイルス感染症は、感染してから2～8日、典型的には4～6日間の潜伏期間を経て発熱、鼻汁などの症状が数日続きます。多くは軽症で自然軽快しますが、咳がひどくなる、喘鳴が出る、呼吸困難となるなどの症状が出現することもあり、場合によっては、細気管支炎、肺炎へと進展していきます。特に、早産児や生後6ヶ月未満での感染では重症化することがありますので、注意が必要です。

感染予防対策としては、流水・石鹸による手洗い、またはアルコール製剤による手指衛生が重要です。

### ・ インフルエンザ



第43週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、6人(定点あたり3.00)です。

年齢別の報告では、3歳(2人)、1歳・2歳・10～14歳・15～19歳(各1人)となっています。

インフルエンザは、発症すると38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

#### 感染症予防のポイント

- ① 咳エチケット(口・鼻を覆う)をしましょう。
- ② 「液体石けん・流水による手洗い」か「手指消毒」を行いましょう。
- ③ 換気(部屋の換気を定期的に行う)をしましょう。
- ④ 集団生活の場合は、共用部分の消毒を行いましょう。
- ⑤ ワクチン接種を検討しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 10/20～10/26(出典:学校等欠席者・感染症情報システム)

今週は、インフルエンザ2人(インフルエンザ型不明1人、A型1人)マイコプラズマ感染症が5人、COVID-19が5人報告されています。

疾患名 自治体名	インフル エンザ	インフル エンザA型	マイコプラ ズマ感染症	新型コロナ 感染症
日置市	1	1	3	4
いちき串木野市	0	0	2	1
三島村	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0
計	1	1	5	5